

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年03月30日

計画の名称	相模原市麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業（産業・みどり・文化・生活などが融合した新たな都市づくりを進める拠点の整備）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	相模原市												
計画の目標	緑豊かな自然環境、インターチェンジ周辺という立地特性を生かし、産業・みどり・文化・生活などが融合した「新たな都市づくりの拠点」や市内外の産業需要を支える「新たな産業創出の拠点」として良好な市街地環境の形成を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,852	A	7,628	B	202	C	22	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.28	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	土地区画整理事業地内都市計画道路及び都市計画道路を結ぶ区画道路（W=13m以上）の整備率を0%（H25）から26%（H30）とする 都市計画道路等整備率 都市計画道路および都市計画道路間を結ぶ区画道路（W=13m以上）の整備済み区域の面積（㎡）÷同対象面積（㎡）×100	0%	%	26%
2	土地区画整理事業における都市計画道路等の整備効果を活かして産業用地の使用収益開始率を0%（H25）から48%（H30）とする。 産業用地の使用収益開始率 土地区画整理事業において創出される産業用地の使用収益開始面積（ha）÷同全面積（ha）	0%	%	48%
3	インターチェンジと産業拠点までの旅行速度の向上 （都）相模原町田線の旅行速度の伸び率 調査年次の旅行速度の平均÷H27年度の旅行速度の平均	100%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	区画	新設	麻溝台・新磯野第一整備 地区((都) 村富相武台 線、(都) 町田新磯線、 (都) 麻溝台新磯野中通 り線及び区画道路)	区画整理A=38.1ha	相模原市						1,786		-	
	A01-002	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	改築	(都) 相模原町田線・JR 相模線立体交差区間	踏切除去、立体交差 L=480m	相模原市						5,842		-	
												小計						7,628		
												合計						7,628		

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	B01-001	下水道	一般	相模原市	直接	相模原市	-	新設	麻溝台・新磯野第一整備 地区（（都）村富相武台 線、（都）町田新磯線、 （都）麻溝台新磯野中通 り線及び区画道路）	下水道（雨水）L=272m、下水 道（汚水）L=1,125m、調整池 A=1,212㎡	相模原市						202		-
関連社会資本整備事業																			
											小計						202		
											合計						202		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	C01-001	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	区画	計画調査	麻溝台・新磯野第一整備地区（地下調査）	地下投棄物、土壌汚染等の調査A=38.1ha	相模原市						20	-		
	麻溝台・新磯野台地整備地区の道路整備と一体的に調査を実施することで、市街地の安全性の向上を図る。																			
	C01-002	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	区画	計画調査	麻溝台・新磯野（北部・南部）地区事業化検討	麻溝台・新磯野（北部・南部）地区事業化検討A=110ha	相模原市						2	-		
	麻溝台・新磯野第一整備地区の道路整備と一体的に隣接区域の事業化方策を検討することで、都市計画道路の連続性の確保を図る。																			
											小計						22			
											合計						22			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	14	66	518	595	1,583
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	19
交付額 (c=a+b)	14	66	518	595	1,564
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	353	164
支払済額 (e)	14	66	165	784	1,304
翌年度繰越額 (f)	0	0	353	164	424
うち未契約繰越額 (g)	0	0	79	0	44
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	15.25	0	2.54
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			補償協議の調整難航のため		

事前評価チェックシート

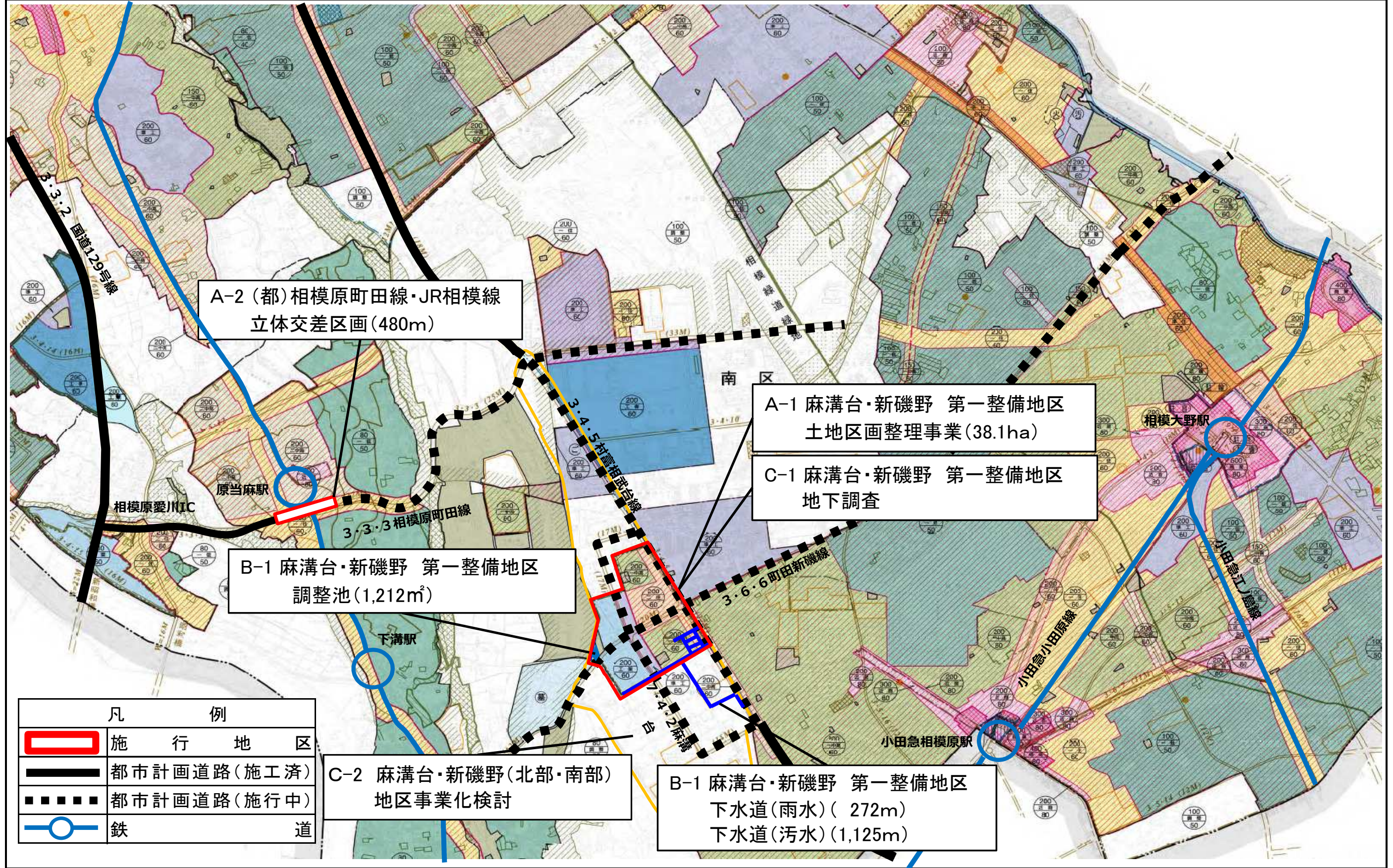
計画の名称： 相模原市麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業（産業・みどり・文化・生活などが融合した新たな都市づくりを進める拠点の整備）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。（都市計画の整備、開発及び保全の方針、新総合計画など）	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている	○
I. 目標の妥当性 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意	
III. 計画の実現可能性 1) まちづくりに向けた機運がある	○

事前評価	チェック欄
III. 計画の実現可能性 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している	○
III. 計画の実現可能性 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている	○

(参考図面) 麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業

計画の名称	相模原市麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業（産業・みどり・文化・生活などが融合した新たな都市づくりを進める拠点の整備）		
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）	交付対象	相模原市



社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年06月03日

計画の名称	相模原市麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業（産業・みどり・文化・生活などが融合した新たな都市づくりを進める拠点の整備）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	相模原市												
計画の目標	緑豊かな自然環境、インターチェンジ周辺という立地特性を生かし、産業・みどり・文化・生活などが融合した「新たな都市づくりの拠点」や市内外の産業需要を支える「新たな産業創出の拠点」として良好な市街地環境の形成を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,727	A	4,355	B	334	C	38	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.8	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	土地区画整理事業地内都市計画道路及び都市計画道路を結ぶ区画道路（W=13m以上）の整備率を0%（H25）から26%（H30）とする 都市計画道路等整備率 都市計画道路および都市計画道路間を結ぶ区画道路（W=13m以上）の整備済み区域の面積（㎡）÷同対象面積（㎡）×100	0%	%	26%
2	土地区画整理事業における都市計画道路等の整備効果を活かして産業用地の使用収益開始率を0%（H25）から48%（H30）とする。 産業用地の使用収益開始率 土地区画整理事業において創出される産業用地の使用収益開始面積（ha）÷同全面積（ha）	0%	%	48%
3	インターチェンジと産業拠点までの旅行速度の向上 （都）相模原町田線の旅行速度の伸び率 調査年次の旅行速度の平均÷H27年度の旅行速度の平均	100%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	区画	新設	麻溝台・新磯野第一整備 地区((都) 村富相武台 線、(都) 町田新磯線、 (都) 麻溝台新磯野中通 り線及び区画道路)	区画整理A=38.1ha	相模原市						2,598		-
	A01-002	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	S街路	改築	(都) 相模原町田線・JR 相模線立体交差区間	踏切除去、立体交差 L=480m	相模原市						1,757		-
											小計						4,355		
											合計						4,355		

B 関連社会資本整備事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H26	H27	H28	H29	H30					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	B01-001	下水道	一般	相模原市	直接	相模原市	-	新設	麻溝台・新磯野第一整備 地区（（都）村富相武台 線、（都）町田新磯線、 （都）麻溝台新磯野中通 り線及び区画道路）	下水道（雨水）L=272m、下水 道（汚水）L=1,125m、調整池 A=1,212㎡	相模原市						334		-		
		関連社会資本整備事業																			
													小計						334		
											合計							334			

C 効果促進事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	C01-001	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	区画	計画調査	麻溝台・新磯野第一整備地区(地下調査)	地下投棄物、土壌汚染等の調査A=38.1ha	相模原市						33	-	
		麻溝台・新磯野台地整備地区の道路整備と一体的に調査を実施することで、市街地の安全性の向上を図る。																	
	C01-002	街路	一般	相模原市	直接	相模原市	区画	計画調査	麻溝台・新磯野(北部・南部)地区事業化検討	麻溝台・新磯野(北部・南部)地区事業化検討A=110ha	相模原市						5	-	
		麻溝台・新磯野第一整備地区の道路整備と一体的に隣接区域の事業化方策を検討することで、都市計画道路の連続性の確保を図る。																	
																		38	
											合計						38		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 市内部評価	事後評価の実施時期 令和4年度
	公表の方法 市ホームページにて公開
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	土地区画整理事業の施行地区内から大量の地中障害物が発出したこと等により事業の推進が困難となり、予定していた工事が一時中止となったことから、目標を達成できなかった。 インターチェンジと産業拠点までの旅行速度については、策定時点と変わりなく、引き続き供用開始後の目標達成を目指し整備を進める。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	土地区画整理事業における先行住宅地街区の基盤整備が進み、良好な居住環境が形成されている。 都市計画道路等の整備に向け、土地区画整理事業の施行地区内の移転補償等を行い、施行者が自ら土地区画整理事業の工事を行うことができる土地（施行者管理地）が7割を超えた。
特記事項（今後の方針等）	
土地区画整理事業については、大量の地中障害物が発出したこと等から、引き続き事業計画変更の検討等を行う予定である。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	26%
	最終実績値	2%
土地区画整理事業地内都市計画道路及び都市計画道路を結ぶ区画道路（W = 13m以上）の整備率		
土地区画整理事業の施行地区内から大量の地中障害物が発出したこと等により事業の推進が困難となり、予定していた工事が一時中止となったことによるもの。		
2	最終目標値	48%
	最終実績値	0%
産業用地の使用収益開始率		
土地区画整理事業の施行地区内から大量の地中障害物が発出したこと等により事業の推進が困難となり、予定していた工事が一時中止となったことによるもの。		
3	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
インターチェンジと産業拠点までの旅行速度		